



あなたはいつも私のそばにいてくれる

あなたは私のすべてを映し出す鏡

そして 希望を見通す窓

あなたの名は 琵琶湖

私の未来が あなたの未来

私たちは 2030年の持続可能な社会と

琵琶湖に根ざす暮らしに向けた

13のゴールを定めました

変えよう、あなたと私から

Mother Lake Goals



Mother Lake Goals



マザーレイクゴールズ公式サイト「MLGs WEB」

<https://mlgs.shiga.jp/>

MLGs WEB

検索



@MotherLakeGoals



fb.me/motherlakegoals ▶



@motherlakegoals



https://bit.ly/3LJ6dSm ▶



facebook



YouTube

マザーレイクゴールズ (MLGs) は、

「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能な社会への目標 (ゴール) であり、「琵琶湖版のSDGs」です。

マザーレイクゴールズ推進委員会



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

マザーレイクゴールズ(MLGs)は、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会へ向けた目標(ゴール)です。MLGsは「琵琶湖版のSDGs」として、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、独自に13のゴールを設定しています。

SDGsとMLGs

SDGsの視点から見ると、琵琶湖を通じてSDGsをアクションまで落とし込む仕組みがMLGsであり、MLGsの取組はSDGsの達成に貢献するものです。MLGsの視点から見ると、琵琶湖の石けん運動以来40年以上にわたる、県民など多様な主体による活動が、SDGsにつながっていることを発見する仕組みと言えます。

琵琶湖を通じてSDGsをアクションまで落とし込む



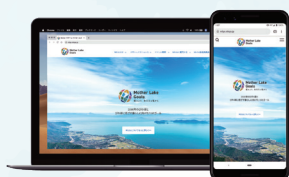
ロゴマーク・キーコンセプトについて

MLGsのロゴマークは、琵琶湖を中央に配し、周囲には円形の中に13のゴールカラーを配置しました。円形は琵琶湖を取り巻く湖国・滋賀、そして地球を表現しています。「琵琶湖は生活を映す鏡」「琵琶湖は地球環境を見通す窓」であることを表し、琵琶湖・滋賀から世界を変えるための目標であることを示しています。

13のゴールカラーは、日本の伝統色を用いて生活に「溶け込む」ことを目指し、アイコンは、組み合わせたときの「つながり」を意識したシンプルなデザインで表現しました。

キーコンセプトは「変えよう、あなたと私から」。変化のはじまりは「あなたと私」。2人が協力し、小さなことを積み上げ、共に変わっていくことが連鎖して、点が線に、線が面へと広がり、社会全体の変化につながっていきたい。そんな思いをこの言葉に込めました。

詳しい情報・最新情報はWEB・SNSをチェック!



マザーレイクゴールズ
公式サイト「MLGs WEB」
<https://mlgs.shiga.jp/>

MLGs WEB 検索

@MotherLakeGoals

fb.me/motherlakegoals

@motherlakegoals

https://bit.ly/3U6dSm



facebook



YouTube

マザーレイクゴールズ推進委員会

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課 〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1

☎ 077-528-3466 ✉ dk00@pref.shiga.lg.jp

- 1** 13のゴールカラーを配置しました。円形は琵琶湖を取り巻く湖国・滋賀、そして地球を表現しています。「琵琶湖は生活を映す鏡」「琵琶湖は地球環境を見通す窓」であることを表し、琵琶湖・滋賀から世界を変えるための目標であることを示しています。

1 | 清らかさを感じる水に
アオコや赤潮などのプランクトンの異常発生が抑制され、飲料水としても問題がなく、思わず触れたいような清らかな水が維持される
- 2** 豊かな魚介類を取り戻そう
在来魚介類の生息環境が改善し、資源量・漁獲量が持続可能な形で増加するとともに、人々が湖魚料理を日常的に楽しむ
- 3** 多様な生き物を守ろう
生物多様性や生態系のバランスを取り戻す取組が拡大し、野生生物の生息状況が改善するとともに、自然の恵みを実感する人が増加する
- 4** 水辺も湖底も美しく
川や湖にゴミがなく、砂浜や水生植物などが適切に維持・管理され、誰もが美しいと感じられる水辺景観が守られる
- 5** 恵み豊かな水源の森を守ろう
水源涵養や生態系保全、木材生産、レクリエーションなどの多面的機能が持続的に発揮される森林づくりが進み、人々が地元の森林の恵みを持続的に享受する
- 6** 森川里湖海のつながりを健全に
森から湖、海に至る水や物質のつながりが健全に保たれ、湖と川、内湖、田んぼなどを行き来する生き物が増加する
- 7** びわ湖のためにも温室効果ガスの排出を減らそう
日常生活や事業活動から排出される温室効果ガスを減らす取組が広がり、琵琶湖の全層循環未完了などの異変の進行が抑えられる
- 8** 気候変動や自然災害に強い暮らしに
豪雨や渇水、温暖化などの影響を把握・予測し、そうした事態が起きても大きな被害を受けない暮らしへの転換が進む
- 9** 生業・産業に地域の資源を活かそう
地域の自然の恵みを活かした商品や製品、サービスが積極的に選ばれ、地域内における経済循環が活性化し、ひいては環境が持続的に守られる
- 10** 地元も流域も学びの場に
琵琶湖や流域、自分が生活する地域を環境学習のフィールドとして体験・実践する機会が豊富に提供され、関心を行動に結びつけられる人が増加する
- 11** びわ湖を楽しみ愛する人を増やそう
レジャーやエコツーリズムなどを通じて自然を楽しむ様々な機会が増え、琵琶湖への愛着が育まれる
- 12** 水とつながる祈りと暮らしを次世代に
水を敬い、水を巧みに生活の中に取り込む文化や、水が育む生業や食文化が、将来世代へと着実に継承される
- 13** つながりあって目標を達成しよう
年代や性別、所属、経験、価値観などが異なる人同士、また異なる地域に住まう人同士がつながり、琵琶湖や流域の現状、これらについて対話を積み重ね、その成果を共有できる機会が十分に提供される